

2009年9月17日 中津川RC、中津川センターRC合同例会 卓話 保存版
 テーマ【誇り高き先人達の思い、歴史の中に明日の指針が。】

中津川ロータリークラブパスト会長伊藤 昇氏

始めに、中津川センターロータリークラブの設立35周年に当たる合同例会に本日の企画をして頂き大変素晴らしいと思います。

私のロータリー暦 51年の中で一番印象に残る例会とっております。



さて、中津川RCの設立総会は、1958年6月15日に会場を弥生にて開催。チャーターナイトは、1958年11月23日に中津商業にて開催した。設立後の会長は初代間孔太郎さん酒井幹事さんで連続3年間同じ人で行った。この事にはRC本部より注意を受けた。

その後の会長は年齢順での就任を続けた。中津川センターRCの設立総会は1974年2月23日場所を中津川農協3階ホールで行い、チャーターナイトは翌年の1975年4月18日に中津川スポーツセンター(現サンライフ)で開催した。

当時の地区範囲は、361地区 岐阜、愛知、三重、静岡、と石川、富山で福井は京都地区という状況であった。

ガバナー 川島三代雄(岐阜西) チャーター 中田清兵衛(富山西)

役員 特別代表 林 安次郎

チャーター会長 伊藤 昇

幹事 勝野金光

当時、会長藤井正夫とガバナー川島三代雄との関係が現センターRCの誕生する大きな要因となっていた。藤井会長は戦時中、岐阜歩兵第68連隊で各務原にあった。その連隊の構成は連隊長(大佐)大隊長(小・中佐)中隊長(中・大尉)その下に小隊長小隊長(少尉)、藤井正夫は中尉で中隊長、ガバナー川島三代雄は少尉で小隊長となり、なりたて将校の間柄であった。

この縁で藤井正夫の金物店(現郵便局隣接駐車場)に来津され早々私も呼び出され折々同席する事となった。

軍隊は上官には絶対服従である。その当時の数年来クラブ拡大が叫ばれていたが、同一のテリトリーで中々進まなかった。R I 本部に於いて規定審議会で決定された国際ロータリー細則第1条第1節の規定により、1974年10月3日本クラブ区域限界内に追加しクラブ結成を承認された。

中津川ロータリークラブ会則第2条 創立時来、本会の区域限界は始め、岐阜県中津川市 及び周辺地域とする。

その後、恵北地区福岡町 山田喜代太郎は入会するが、神坂村 島崎藤村の長男楠夫さんを加入運動するもテリトリー地区外で断念する。

1974年5月24日吉村文平会長宛 拡大反対陳情あり。 自クラブ内容は当時71名で中津川市の人口が49,411人 会員一人当たり696人の比率で、1.4%であった。

陳情の内容は、会員確保に苦慮するため健全なる運営に支障を来たすとの理由であった。

ロータリアン1名が代表する人口数表

当時として、中津川のロータリアンが決して少なくないことが下表にて判る。

	都市名	会員数	都市人口	1人当り人口	比率%
1	各務原	62	84,850	1,368	1.61%
2	関	42	51,898	1,236	2.38%
3	羽島	42	50,691	1,207	2.38%
4	美濃加茂	37	36,058	974	2.70%
5	大垣	144	139,351	967	0.69%
6	岐阜	423	399,195	944	0.24%
7	土岐	71	62,675	883	1.41%
8	恵那	44	32,540	740	2.27%
9	瑞浪	54	38,208	708	1.85%
10	中津川	71	49,411	696	1.41%
11	高山	94	57,834	615	1.06%
12	美濃	47	26,929	573	2.13%
13	多治見	120	64,920	541	0.83%
	合計	1,251	1,094,560	11,452	1.05%

県内平均会員数 1名当り人口 = 874.9

会員数は49年2月ガバナーズレターにより人口は48年3月現在

県内の平均による中津川市人口に対する会員数 = 56.4人

都市内ロータリアン数はアディショナルクラブ会員の合計数

分割りを反対か賛成か記名で投票

結果、賛成多数 但し俺は分家をするとの申出なし。

市内を中津川を境に東西に分割し東を中津川ロータリーで西の坂本を中心に新クラブを決めた。

移籍組として、西側に住居及び営業の拠点がった次の方

- ・丹羽 新平 (市会議員厚二の父)
- ・近藤 勲 (中津川RC良三の父)残念ながら昨日9月16日逝去
- ・宮島 文彦 (営業の拠点特に積極的)
- ・栗原 勝郎 (中央紙運輸の専務)
- ・磯村 邦彦 (千旦林に営業所あり)
- ・篠田 初太郎 (センターRC敏政の父)
- ・大田 正男 (大田洋服)
- ・高樋 卓爾 (たかとい 水野治助15代会長の幹事)
- ・市川 博 (移籍に反対、入会2年)

計 8名

新クラブ名の募集の結果、**中津川中ロータリークラブ**と決める。

新クラブ会員一人に一人の新会員募集命令が発令される。

1975年2月20日 移籍組8名送別例会が開催され、8人個々が希望や感想を発表された。

林 安治郎より申請書提出 文面朗読

昭和50年2月6日

抽 冬 忠 殿

中津川ロータリークラブ
特別代表 林 安治郎

拝啓 益々御多用にて日々奉仕の理想推進に御精進の条、慶賀に存じ上げます。

さて、過般来アデショナルクラブ設立に関しては種々御配慮賜り厚く御礼申し上げます。
つきましては去る4日付けを以って追加クラブ結成の承認書3通を事務局へ郵送しましたが、その内容は1月1日より改正になった R I 細則1条1節を適用して同一区域内に二つのクラブ結成を認めたものであります事を御了承下さるよう念のため本日改めて書籍にて御依頼申し上げます故、誠に御手数乍ら貴下の御介添御配慮賜りますよう御願ひ申し上げます。

敬具

新クラブ役員が決まる

理事	会長	栗原 勝郎
理事	副会長	丹羽 新平
	幹事	高樋 卓爾
	会計	原 貞一
理事	S A A	篠田初太郎
	副幹事	磯村 邦彦
理事		大田 正男
理事		郷原 幸夫
理事		林 敏弘
理事		前田 眞行
理事		宮島 文彦
理事		近藤 勲
	その他会員	25名
	総勢	37名

中津川中(仮)ロータリークラブ設立招待状を発送

昭和50年2月10日

殿

中津川ロータリークラブ
会長 藤井 正夫
特別代表 林 安治郎

拝啓 立春の候益々ご多祥の条、慶賀に存じ上げます。

さて、予てより当クラブの本年度重点事業として、アデショナルクラブ結成を推進して参りましたが、愈々下記により創立総会を開催して中津川中(仮)ロータリークラブが誕生することになりました。つきましてはご繁忙中誠に恐縮ながら是非貴台のご臨席を賜りますようご案内申し上げます。

敬具

記

日時 昭和50年2月23日(日) 午後1時より

会場 中津川市新町 農協三階ホール

追伸 時節柄努めて簡素に取り行いますのでご祝儀などのご配慮は堅くお断りします。

中津川中(仮)ロータリークラブ創立総会

昭和50年2月23日 13時~15時30分

中津川市農協三階ホールにて開催

来賓名簿

第361地区ガバナー	川島 三代雄
バストガバナー	山中 義一
岐阜県分区代理	水野 治助
多治見RC会長	加藤 軍治
多治見西RC会長	各務 良弘
土岐RC会長	藤本 歓次
瑞浪RC会長	工藤 春三
恵那RC会長	岩久 正次
中津川市記者クラブ	
スポンサークラブ	
特別代表	林 安治郎
中津川RC会長	藤井 正夫
中津川RC会員	62名



中津川中(仮)ロータリークラブ会員名簿

昭和50年2月23日

No	氏名	職業分類	社名 役職	住所
1	磯村 邦彦	科学肥料販売	土佐屋磯村商店 経営主	淀川町
2	太田 正男	男子服販売	(株)太田屋洋服店 代表取締役	日の出町
3	岡 光雄	ホテル	北恵那観光開発(株) 取締役社長	苗木高森
4	小川 弘次	婦人服販売	(株)カナリヤ 代表取締役	淀川町
5	勝野 恭二	料理店	(株)勝宗 取締役社長	太田町
6	加藤 武文	米販売	堀田米穀店 経営主	北野町
7	河合 信一	外科医	中津川市民病院 副院長	東宮町
8	川 出 学	婦人服製造	(有)カワデニット 代表取締役	太田町
9	木村 武雄	農業	農業経営主	茄子川
10	熊崎 長吉	農協役員	坂本農協 組合長	千旦林
11	熊 沢 伸	旅客鉄道輸送	北恵那鉄道(株) 取締役社長	北野町
12	倉田 稔	食料品販売	フードストア-みくらた 経営主	千旦林
13	郷原 幸夫	貨物自動車運輸	中津貨物自動車(株) 取締役	淀川町
14	小木 曾和	郵便事業	大平簡易郵便局 局長	駒場
15	近 藤 勲	緑化資材販売	近藤樹苗園 園主	千旦林
16	鈴木 忠義	プレス金型製造	板栄工業(有) 代表取締役	茄子川
17	鈴木 多之助	婦人科医	林病院 院長	新町
18	高井 正徳	土木	高木土木 経営主	茄子川
19	高木 新平	建築製材	高木建設(株) 代表取締役	茄子川
20	高樋 卓爾	陶磁器販売	(有)たかとい 代表取締役	太田町
21	田中 清吉	絹糸製造	恵那繭糸販売農協 会長	茄子川
22	田中 要吉	養鰻	うろぼし養鰻場 経営主	千旦林
23	林 敏弘	インテリヤ	(有)奈良屋商店 専務取締役	太田町
24	原 貞一	信用組合	中津川信用組合 専務理事	落合
25	堀 井 晋	和菓子製造	二葉軒 経営主	淀川町
26	前田 眞行	楽器販売	(有)ダイソー楽器 専務取締役	太田町
27	水野 富治	書籍販売	水野書店 経営主	苗木
28	宮島 文彦	建築設計	宮島建設(株) 代表取締役	駒場
29	山田 昌弘	梱包材料販売	(有)山田折箱店 代表取締役	太田町
30	吉村 孝治	建築	(株)吉村建設 代表取締役	本町
31	若森 国男	金属プレス	東濃工業(株) 取締役社長	中津川
32	渡辺 勝美	鶏肉加工	東濃食品(株) 代表取締役	東宮町
33	渡辺 謙一	歯科医	渡辺歯科医院 院長	えびす町
34	渡辺 幸郎	新聞販売	中津川新聞販売所 経営主	栄町
35	栗原 勝郎	シニア(運送)	中央紙運輸(株) 専務取締役	太田町
36	篠田 初太郎	シニア(ホテル)	篠田興業(株) 取締役社長	新町
37	丹羽 新平	シニア(製瓦)	丹羽瓦店 経営主	坂本広久手

昭和51年4月18日(日)

中津川中ロータリークラブ 国際ロータリー加盟認証状伝達式

開催場所 中津川市スポーツセンター

中津川中ロータリークラブ会長挨拶 栗原勝郎

本日ここに、中津川中ロータリークラブの国際ロータリー加盟認証伝達式を挙げるに当り、ガバナー中田精兵衛殿並びに、パストガバナー各位、岐阜県知事平野三郎殿を始め、多数のご来賓と、そして全国各地のロータリアンとその御家族の方々には、公私友御多端な折、御臨席の栄を賜りましたことは、衷心より感謝を申し上げると共に私共42名の会員が無上の光栄と存ずる次第であります。

当クラブは中津川ロータリークラブをスポンサーとし、基の会員諸兄の物心両面に至る御指導により、1975年2月23日ロータリー創立70周年と云う記念すべき日に創立総会を開催し、3月18日国際ロータリーに正式加盟が承認され、今日に至りました。

本日斯くも盛大なる式典を持ち得まして、只今、皆様の前でガバナーより認証状を伝達して戴き感激の至りであり厚くお礼申し上げます。

今後私共一同はロータリーの精神に則り、友愛と奉仕の輪を拡げ、職域及び地域社会に及ぼしたい考えであります。

何卒、皆様方先輩各位には末長く御交誼と御友情を賜りますことを切に御願い申し上げ、私の御挨拶と致します。

尚、会場その他の諸設備も甚だ不行き届きで、失礼に至る点が多々あると存じますが、何卒御寛容の程御願い申し上げます。

中津川中ロータリークラブ 国際ロータリー加盟認証状伝達式

スポンサークラブ会長祝辞

中津川ロータリークラブ会長 伊藤 昇

春の陽ざしを浴びて、今日のよき日に中津川中ロータリークラブの、認証状伝達式が行われるに当たり、一言お祝いを申し上げます。

本日は中田ガバナーを初め、各パストガバナー外多数のご来賓をお迎えして、盛大に挙行されることを心よりお祝い申し上げます。

実際にお祝いを述べられるのは藤井直前会長であり、私は設立の苦勞をあまり知らず、お祭りのみをする幸運者でございます。

69名中8名の武士が敢然とキーマンとして移籍を決意したのです。そして昨年2月20日は新クラブ移籍者のサヨナラ例会だった、一人一人が感激な挨拶をし、会長より渡される記念品を受け取る手が聊かふるえているようだった。

私たちは率先退会、移籍された勇気に感謝をし、万雷の拍手を贈るものであります。

キーマンを中心に、ロータリーの理想と友情を忘れることなく進んで下さい。

スポンサークラブは、その責任と義務を最後まで履行することをお約束する次第です。

今後益々のご発展をご期待申し上げます。

中津川中チャーターナイト 各地RC出席地区

- | | | | | |
|----------|--------|---------|--------|--------|
| ・ 三重(台湾) | ・ 飯田南 | ・ 岐阜南 | ・ 名古屋中 | ・ 四日市 |
| ・ 美濃加茂 | ・ 瀬戸 | ・ 土岐 | ・ 名古屋西 | ・ 四日市西 |
| ・ 下呂 | ・ 犬山 | ・ 都留 | ・ 名古屋北 | ・ 中津川 |
| ・ 恵那 | ・ 多治見西 | ・ 伊勢 | ・ 春日井 | |
| ・ 可児 | ・ 浜松 | ・ 名張 | ・ 高山 | |
| ・ 一宮 | ・ 駒ヶ根 | ・ 津 | ・ 高山西 | |
| ・ 名古屋空港 | ・ 木曾 | ・ 津南 | ・ 瑞浪 | |
| ・ 西春日井 | ・ 多治見 | ・ 桑名 | ・ 岐阜東 | |
| ・ 郡上八幡 | ・ 箕輪 | ・ 常滑 | ・ 岐阜東南 | |
| ・ 小矢部 | ・ 伊那 | ・ 半田 | ・ 美濃 | |
| ・ 内浦 | ・ 不破 | ・ 安城 | ・ 瑞浪 | |
| ・ 小松 | ・ 大垣 | ・ 稲沢 | ・ 関 | |
| ・ 河北 | ・ 大垣西 | ・ 岐阜 | ・ 江南 | |
| ・ 加賀 | ・ 本巣 | ・ 岐阜長良川 | ・ 高岡西 | |
| ・ 飯田 | ・ 羽島 | ・ 名古屋南 | ・ 越中八尾 | |

中津川中(センター)ロータリークラブの設立ができたことは、故藤井正夫の命令通り実行したものである。

記念すべき中津川センターロータリークラブ35周年に当たり、有意義となったかどうか。

活かされた視点に立って独創性を発揮してロータリー活動に専念されることをご期待申し上げ私の話を終わります。